

医療の一翼を担う業界として研鑽・努力する

平成29年度叙勲・褒章受章者及び大臣表彰受賞者祝賀会・懇親会

平成30年2月1日(木) 17:30~19:00 パレスホテル2階「葵」



日本製薬団体連合会の多田会長の発声で乾杯

叙勲・褒章受章者及び大臣表彰受賞者祝賀会・懇親会は、自民党衆議院議員の塩崎恭久氏の特別講演のあと、17時30分から開催された。会場となったパレスホテル東京「葵」には来賓の国会議員、行政、関連団体代表者の出席のもと、会員、賛助会員、報道関係者など総勢630名の参加者があった。

最初に司会者より、平成29年度秋の旭日双光章を受章された藤田皓二氏、藍綬褒章を受章された太田裕史氏、平成29年度厚生労働大臣表彰を受賞された武舎和久氏の紹介があった。



左から藤田氏、太田氏、武舎氏

○旭日双光章

藤田皓二(日本医薬品卸売業連合会理事)

○藍綬褒章

太田裕史(元日本医薬品卸売業連合会副会長)

○厚生労働大臣表彰

武舎和久(元長野県医薬品卸協同組合副理事長)

続いて主催者を代表して、日本医薬品卸売業連合会の鈴木賢会長から次のような挨拶があった。

「先ほどは、塩崎恭久衆議院議員、前厚生労働大臣に大変ご示唆に富んだご講演をいただきありがとうございました。

本日は、ご多忙の中、多くの国会議員の先生方並



鈴木卸連合会会長



加藤厚生労働大臣



中川日本医師会副会長

びにご来賓の方々にご出席いただき誠にありがとうございます。大勢の皆様にご参加いただき厚く御礼申し上げます。長年にわたるご功績により、受賞の栄に浴された御三方には心からお慶び申し上げます。

さて、中医協では、昨年、薬価制度の抜本改革について活発な議論が行われました。当連合会としても、医薬品の安定供給と流通改善を更に進める観点から、中医協において機会をいただき意見陳述をいたしました。私どもは、主に2つの要望をいたしました。一つ目は、中間年の薬価改定は、極力対象品目の範囲を限定して、そのための調査は、簡易な方法で行い、毎年全面改定の議論に繋がらないようにすること。二つ目は、流通改善の取り組みを加速させるため、効果的な施策を推進いただきたいということです。

昨年11月には、中医協において、流通改善のためのガイドラインの趣旨、内容を「未妥結減算制度」に取り入れるなど、診療報酬等における対応の検討が改革の方向性として了承されました。12月には、流改懇において、流通改善ガイドラインについての議論が行われ、パブリックコメントを経て、1月23日に医政局長と保険局長の連名の通知として当該ガイドラインが発出されました。続いて、中医協において、ガイドラインを踏まえた未妥結減算制度の見直しが議論されています。このように、厚労省では、流通改善をさらに推進するため、これまでも増して積極的な施策にご尽力いただいております。当連合会としても、ガイドラインを遵守するための取り組みを積極的に進めていかなければならないと考えています。流通関係者が一体となつての取り組みが求められておりますので、よろしくお願いいたします。残念なことに、昨年1月に偽造薬が流通するという事案が発生いたしました。厚労省では、二度と偽造薬を流通させないため、関係省令の改正など速

やかな対応がとられました。当連合会といたしましても、医薬品流通の立場から医薬品の信頼を確保するため、医薬品流通の品質管理及び偽造薬流通防止への対応を徹底してまいります。本年10月にはIFPW（国際医薬品卸連盟）の総会がアメリカ・ワシントンDCで開催されます。国際会議への参加で得た医薬品流通の実情も参考にしながら、我が国の医療の一翼を担う業界として、引き続き、研鑽・努力して参りたいと思います。2020年10月には、ほぼ30年ぶりのIFPW総会の日本開催が決定しております。いよいよ、あと2年と迫ってまいりました。開催に向けての準備を本格化させてまいりますので、よろしくお願いいたします。」

続いて、厚生労働省を代表して加藤勝信厚生労働大臣から次のような挨拶があった。

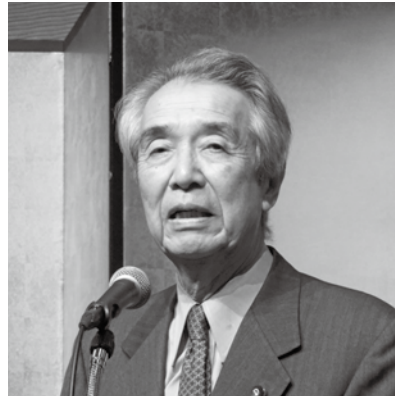
「ご臨席の皆さんにおかれましては、平時においても、また災害があればその時にもすぐに対応していただく中で、国民の生命と健康を守るうえで必要不可欠な、医薬品の迅速かつ安定的な供給を行っていただいております。日本の医療を支えていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて平成28年12月に、薬価制度の抜本改革に向けた基本方針、これを踏まえた薬価制度改革の具体化に向けて昨年12月には中医協において、薬価制度の抜本改革に関する骨子を取りまとめられました。2年に1度の薬価改定の際の年度であります平成33年度からの薬価調査・改定の実施に向けて、安定的な医薬品の流通が確保されるよう、国が主導して流通改善に取り組むこととしております。

また流通改善に向け、改革の方向性として、流通関係者が取り組んでいただくべきガイドラインを作成し、遵守を求めさせていただくとともに、診療報酬上の対応も検討していくことといたしました。



山本日本薬剤師会会長



伊吹元衆議院議長



岸田政務調査会長

これを受けて本年1月には、将来にわたる流通機能の安定性を確保するために、この医薬品の価値を踏まえた単品単価契約の推進などを盛り込んだ流通改善ガイドラインを発出し、今後ガイドラインを実効性のあるものにしていくために、厚生労働省に相談窓口を設置し、流通関係者の皆さんにもいろいろヒアリングをさせていただき、また指導も行っていきたいと思っております。

引き続き、安定的かつ適正な流通の確保に向けての流通改善に、厚生労働省としても正面から取り組んでまいります。卸売業の皆さん方にもご理解とご協力を心からお願いしたいと思っております。

また昨年は、ハーボニー配合錠の偽造品が流通し、医薬品に対する国民の信頼を大きく揺るがす、大変残念な事案が発生した年でもあります。卸連合会からもご参加をいただきました検討会の取りまとめを踏まえて、必要な取り組みを進めてまいります。どうか品質の確保された医薬品の安定供給について、ご尽力を心からお願い申し上げます。」

次に、日本医師会の中川俊男副会長から次の挨拶があった。

「今年のいまごろ、医療用医薬品の流通経路に偽造薬が混入するという前代未聞の出来事がありました。それから1年余り経過した昨年12月末に、厚生労働省は医療用医薬品の偽造薬流通防止のための施策のあり方に関する検討会の最終取りまとめを公表し、先週1月26日には、偽造薬を卸売業者に持ち込んだ容疑者への逮捕状が出たというニュースがございました。

日本医師会としましては、患者の治療に不可欠な医薬品の確認を医薬品卸売業者の皆様だけではなく、医師をはじめとした医療関係者も確実に実施し、医療機関で医薬品を購入するにあたっては、適切な取

引が行われるよう啓発に努めてまいります。

また中医協では、診療報酬の項目ごとの具体的な内容が議論され、薬価調査が適切に実施される環境の整備として、未妥結減算の見直しが提案されました。医療機関および薬局と卸との間での単品単価取引を促進するため、200床以上の病院と保険薬局に対して単品単価契約率および一律値引き契約にかかる状況等について、国に報告することが中医協で了承されています。

日本医師会としましても貴会および関係団体と協力し、引き続き流通の改善ならびに国民の生命と健康を守るという責務を果たしていく所存であります。」

続いて、日本薬剤師会の山本信夫会長から次の挨拶があった。

「日ごろから、体内を巡る血管のごとく、高度にシステム化された配送ネットワークを最大限に機能させ、全国隅々の医療機関、薬局に医薬品の品質を損なうことなく迅速かつ確に供給していただいていることに、改めて御礼申し上げます。とりわけ医療における医薬品の管理、監督を旨とする薬剤師にとって、皆様方のご尽力があっはじめて国民、患者の手元に医薬品を提供することができるわけで、皆様方との連携、協調体制の構築は不可欠であると考えております。

しかしながら昨年発生した偽造医薬品流通問題については、長年にわたり築きあげてきたわが国の医薬品流通の安全神話を脅かす、極めて深刻な出来事であり、あまつさえその事案に薬剤師がかかわったことは、職能団体を束ねる者として大変残念であり、慙愧の念に耐えません。

まもなく平成30年度診療報酬改定が実施されますが、同時に行われます薬価制度改定においては、単



丹羽元厚生大臣



多田日本製薬団体連合会会長



鹿目薬政連会長

に薬事制度を改革することにとどまらず、製薬企業はもとより医薬品流通をあずかる皆様方にとっても大きな影響があるものと考えています。これまでの流通体制を維持しながら、こうした時代の変化に対応し、揺らぎかけた信頼の回復を目指し、大変難しい年になると思います。医薬品の地域への供給を担う薬剤師、薬局と、そのバックボーンとして機能されている医薬品卸売業の皆様方は、わが国の医薬品の安定供給を支えるチームメイトといっても過言ではありません。これからも純良な医薬品の安定した配送体制の確保をお願いいたします。」

続いて、ご来賓の国会議員を代表して伊吹文明元衆議院議長から次のような挨拶があった。

「やっと診療報酬が決まったら、来年は消費税の引き上げがあります。医師会是非課税と言っていますが、急に制度を変えるのは非常に困難であり、薬価調査をしながらやっていくことになるでしょう。そして、再来年からの毎年調査、理屈としては正しいのですが、卸の皆さんに多大な負担がかかります。6割程度は2年に1度の改定でも薬価は変わらない中で、傾向を押さえたうえで調査をしたことにするのか、効能追加や新規収載品について重点調査をするか、調査対象先をどうするか、いま厚生労省は一生懸命詰めていると聞いています。毎年改定が行われた場合、在庫評価損の計上方法など法人税の計算上難しい問題が出てきます。このあたりは皆さんで十分議論して頂き、またわれわれも一緒に勉強させて欲しいと思います。」

続いて、岸田文雄政務調査会長から次のような挨拶があった。

「平素から医薬品流通の担い手として、国民に迅速・確実・安定的に医薬品を供給し、社会的使命を果

たされている皆様に心から敬意を表します。薬価制度の抜本改革等について、党の政策責任者として厳しい指摘も受け承っていますが、これからも関係者の皆様の声に耳を傾けながら、ご指導いただきながら努力を続けていきたいと存じます。関係者の皆様には社会保障制度の維持発展、業界の発展のために活躍をいただきたいと思います。」

次に、丹羽雄哉元厚生大臣から次のような挨拶があった。

「私は、昨年の10月に政界の第一線を退いたわけでございます。しかし、私の医薬品卸に対する情熱、愛情はいささかも変わりありません。いわゆる医薬品の安定供給のためには、卸の利益率が0.1%なんていう情けないことでは困るのです。将来の安定供給を目指して、流通ガイドラインを発出し、総価山買いから単品単価取引を目指すということです。」

皆さんとともに、医薬品卸の応援団の1人として、及ばずながらがんばっていく次第でございます。」

続いて、ご来臨の国会議員・来賓の方々が登場され、関連団体を代表して、日本製薬団体連合会の多田正世会長のご発声により、乾杯が行われ祝宴に移った。

このほか祝賀会・懇親会には、小野寺五典防衛大臣、野田毅党税制調査会最高顧問、尾辻秀久元厚生労働大臣、松本純前国家公安委員長・前内閣府特命担当大臣、石原伸晃前経済再生大臣、丸川珠代前オリンピック・パラリンピック担当大臣、大沼みずほ・田畑裕明厚生労働大臣政務官、橋本岳党厚生労働部会長、高鳥修一衆議院厚生労働委員長、島村大参議院厚生労働委員長、藤井基之元文部科学副大臣、衛藤晟一総理大臣補佐官をはじめ衆参両議員の多数の先生方にご来臨・ご祝辞をいただくなど盛会裡に宴は進

挨拶される国会議員の方々



小野寺五典
防衛大臣



野田 毅
衆議院議員



石原伸晃
衆議院議員



松本 純
衆議院議員



山本幸三
衆議院議員



逢沢一郎
衆議院議員



とかしきなおみ
衆議院議員



高鳥修一
衆議院議員



橋本 岳
衆議院議員



富岡 勉
衆議院議員



三ッ林裕巳
衆議院議員



城内 実
衆議院議員



長尾 敬
衆議院議員



大塚 拓
衆議院議員



鬼木 誠
衆議院議員



宮内秀樹
衆議院議員



田畑裕明
衆議院議員



玉木雄一郎
衆議院議員



尾辻秀久
参議院議員



藤井基之
参議院議員



丸川珠代
参議院議員



羽生田 俊
参議院議員



自見はなこ
参議院議員



吉川ゆうみ
参議院議員



足立信也
参議院議員



櫻井 充
参議院議員

田畑裕明大臣政務官(衆・富山1区)

○衆議院議員 54名

逢沢一郎(岡山1区)、秋葉賢也(宮城2区)、秋元司(東京15区)、穴見陽一(大分1区)、あべ俊子(岡山3区)、安藤高夫(東京比例)、池田佳隆(東海比例)、石原伸晃(東京8区)、井出庸生(長野3区)、井上貴博(福岡1区)、伊吹文明(京都1区)、今枝宗一郎(愛知14区)、岩屋毅(大分3区)、大串正樹(兵庫6区)、大塚拓(埼玉9区)、岡本充功(東海比例)、小倉将信(東京23区)、鬼木誠(福岡2区)、小野寺五典(宮城6区)、菅家一郎(福島4区)、城内実(静岡7区)、岸信夫(山口2区)、岸田文雄(広島1区)、国光あやの(茨城6区)、古賀篤(福岡3区)、小林鷹之(千葉2区)、塩崎恭久(愛媛1区)、菅原一秀(東京9区)、高鳥修一(新潟6区)、高橋ひなこ(東北比例)、棚橋

み、薬政連鹿目広行会長の閉会挨拶で定刻19時に終了した。

なお、当日ご臨席の国会議員(代理は除く)は次のとおり。(敬称略)

○厚生労働省 3名

加藤勝信大臣(衆・岡山5区)

大沼みずほ大臣政務官(参・山形)

泰文(岐阜2区)、田野瀬太道(奈良3区)、玉木雄一郎(香川2区)、田村憲久(三重1区)、津島淳(青森1区)、とかしきなおみ(大阪7区)、富岡勉(九州比例)、長尾敬(大阪14区)、中根一幸(北関東比例)、丹羽雄哉(前職)、野田毅(熊本2区)、橋本岳(岡山4区)、船橋利実(北海道比例)、古川元久(愛知2区)、前原誠司(京都2区)、松本純(神奈川1区)、松本剛明(兵庫11区)、三ツ林裕巳(埼玉14区)、三原朝彦(福岡9区)、宮内秀樹(福岡4区)、宮路拓馬(九州比例)、山田美樹(東京比例)、山本幸三(福岡10区)、柚木道義(中国比例)

○参議院議員 17名

足立信也(大分)、衛藤晟一(比例)、大家敏志(福岡)、尾辻秀久(鹿児島)、木村義雄(比例)、櫻井充(宮城)、島村大(静岡)、自見はなこ(比例)、高階恵美子(比例)、長峯誠(宮崎)、羽生田俊(比例)、福岡

資麿(佐賀)、藤井基之(比例)、古川俊治(埼玉)、丸川珠代(東京)、森まさこ(福島)、吉川ゆうみ(三重)



祝賀会の会場となったパレスホテル